令和７年度　下水道事業決算

（１）収益的収支（維持管理の収支）

・収入は、雨水処理負担金が増加したものの、下水道使用料の減少や退職給付引当金期末残高の調整による収益化の皆減等に伴い雑収益が減少したこと等により、収入全体では前年度よりも約０．５億円減少しました。

・支出は、修繕引当金の取崩しに伴う修繕費の減少や退職者数減に伴う退職給付費の減少等により、支出全体では前年度よりも約５．８億円減少しました。

●予算執行状況（単位：百万円・税込み）▲はマイナス

	項目	予算額①	R7決算額②	対予算 ②－①
収益的収入	下水道使用料	10,318	10,353	35
	長期前受金戻入	4,679	4,610	▲ 69
	その他収入	96	200	104
	一般会計繰入金	7,390	7,233	▲ 157
	収入計	22,484	22,397	▲ 87

	項目	予算額①	R7決算額②	対予算 ②－①
収益的支出	人件費	1,031	1,001	▲ 30
	物件費※	7,095	6,649	▲ 446
	減価償却費等	11,824	11,625	▲ 199
	企業債利息等	1,472	1,463	▲ 9
	その他	60	23	▲ 37
	支出計	21,482	20,760	▲ 722

※物件費：動力費、修繕費、委託料等
※各金額を百万円未満四捨五入で表記しているため、
　合計額や差引が一致しない場合があります。
※R7決算額について、R6からR7への繰越額も含みます。

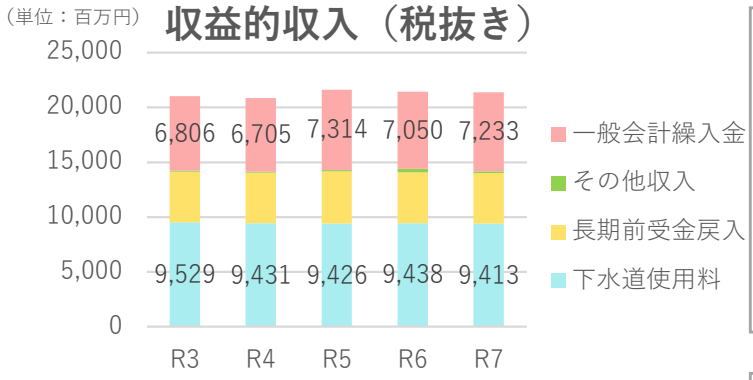
●損益計算書（単位：百万円・税抜き）▲はマイナス

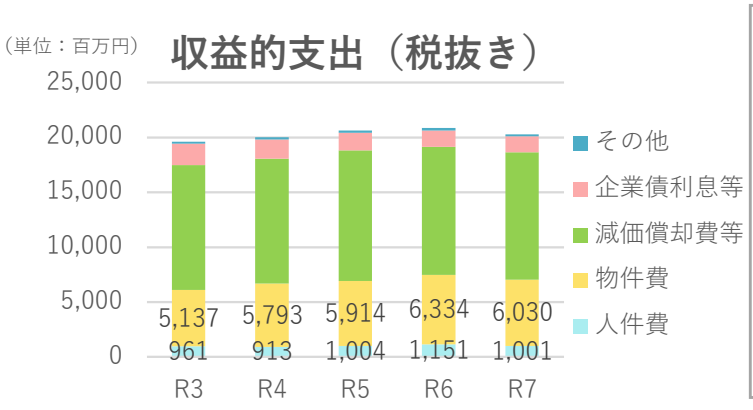
	項目	R7決算額①	R6決算額②	対前年度決算額 ①－②
収益的収入	営業収益	15,460	15,252	208
	(1)下水道使用料	9,413	9,438	▲ 25
	(2)その他	6,047	5,814	233
	営業外収益	5,934	6,189	▲ 254
	(1)長期前受金戻入	4,610	4,650	▲ 39
	(2)その他	1,324	1,539	▲ 215
	収入計	21,394	21,441	▲ 47

	項目	R7決算額①	R6決算額②	対前年度決算額 ①－②
収益的支出	営業費用	18,673	19,154	▲ 482
	(1)人件費	1,001	1,148	▲ 147
	(2)物件費	6,030	6,331	▲ 301
	(3)その他	11,642	11,676	▲ 34
	営業外費用	1,629	1,721	▲ 92
	(1)企業債利息等	1,463	1,497	▲ 35
	(2)その他	167	224	▲ 57
	特別損失	0	5	▲ 5
	支出計	20,302	20,880	▲ 578
収支	純利益	1,092	560	532

※営業外費用、特別損失に人件費、物件費を含むことがあるため、下記５年間の決算値推移と数値が一致しない場合があります。

●５年間の決算値推移（単位：百万円・税抜き）





＜下水道使用料＞
　人口減少に伴い減少傾向となっています。令和８年６月の使用料改定に伴い、令和８年度は増収となる見込みです。

＜一般会計繰入金＞
　令和７年度は、令和６年度と比較して雨水処理負担金が資本費分において増加したことで増加となりました。

＜人件費＞
　給与改定の影響に伴い近年は増加傾向にあり、令和６年度は退職者数増に伴う退職給付費の増加によって大幅に増加しました。令和７年度は、退職給付費が例年並みとなったことで減少となりました。

＜物件費＞
　物価高騰や労務単価の上昇に伴い動力費、委託料が増加傾向にありましたが、令和７年度は修繕引当金の取崩しを行ったことで修繕費が減少したこと等により減少しました。

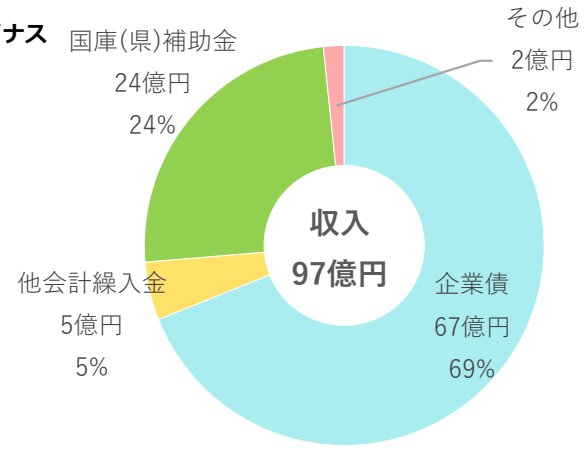
（2）資本的収支（建設投資の収支）

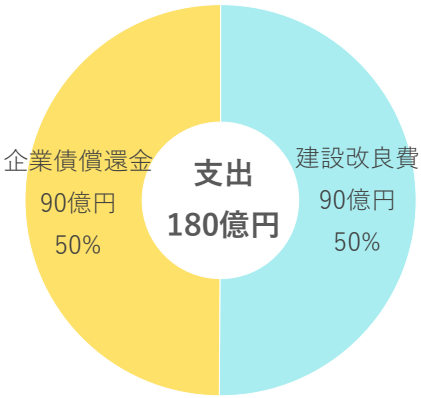
・収入は、起債対象事業が増加したことによる企業債の増加等により約８．９億円増加しました。
・支出は、建設改良費、企業債償還金の減少により約８．９億円減少しました。

●予算執行状況及び前年度比較（単位：百万円・税込み）▲はマイナス

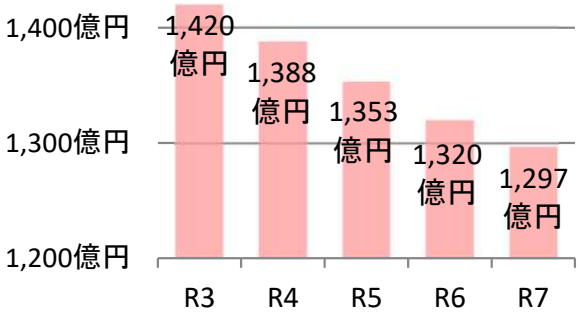
	項目	予算額①	R7決算額②	R6決算額③	対予算②−①	対前年度決算額②−③
資本的収入	企業債	11,520	6,662	6,084	▲ 4,858	578
	一般会計繰入金	455	455	469	0	▲ 14
	国庫(県)補助金	3,744	2,380	2,191	▲ 1,364	188
	その他	180	162	29	▲ 18	133
	収入計	15,899	9,659	8,774	▲ 6,240	885
資本的支出	項目	予算額①	R7決算額②	R6決算額③	対予算②−①	対前年度決算額②−③
	建設改良費	15,827	9,017	9,562	▲ 6,810	▲ 545
	企業債償還金	8,982	8,981	9,328	▲ 1	▲ 347
	支出計	24,809	17,999	18,890	▲ 6,810	▲ 892

※各金額を百万円未満四捨五入で表記しているため、
　合計額や差引が一致しない場合があります。
※R7決算額について、R6からR7への繰越額も含みます。

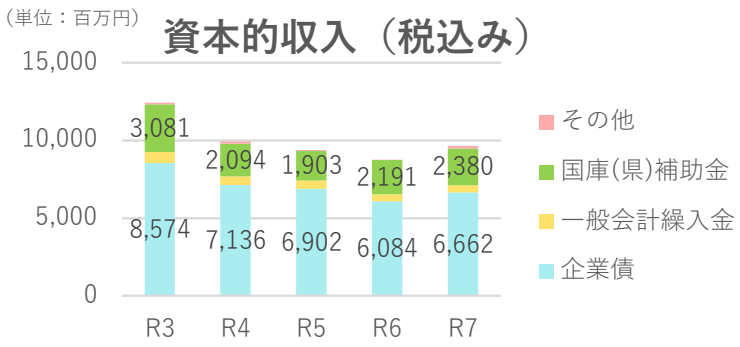




下水道事業の企業債残高



●５年間の決算値推移（単位：百万円・税込み）





＜企業債＞
　令和６年度と比べ、企業債の借入対象事業が増加したことにより、企業債の借入額は増加しています。
　建設改良費が変動することで、借入額も変動します。

＜国庫（県）補助金＞
　令和７年度は国庫補助対象事業が増加したことに伴い、国庫補助金収入が増加しています。

＜建設改良費＞
　浸水対策の進捗等により、令和７年度は令和６年度より減少しました。

＜企業債償還金＞
　企業債の償還年次が進み、未償還残高が減少しているため、償還金は減少傾向にあります。
　なお、令和５年度は、平成25年度に借入した下水道事業債の未償還残高を、一括償還したことにより増加しています。